

規約集

平成30年4月現在

- ・ 会 則
- ・ 細 則
- ・ 個人登録規程
- ・ 認定審判員登録規程
- ・ 弔意規程

福井市バドミントン協会

福井市バドミントン協会会則

昭和36年10月21日制定

昭和48年 4月 1日改正

昭和51年 4月 1日改正

昭和60年 4月20日改正

昭和62年 3月31日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、福井市バドミントン協会（以下、本協会という。）という。

(目 的)

第2条 本協会は福井市におけるバドミントン競技の統轄団体として、バドミントンの健全な普及振興をはかるとともに、市民の体位向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本協会は、第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 競技の指導および普及
- 2 各種大会・講習会の開催と後援
- 3 各種大会への選手派遣と選手強化
- 4 審判員の養成
- 5 競技の宣伝・啓蒙
- 6 その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

(事務局)

第4条 本協会の事務局は、福井市花月 4-7-24 野々垣 剛宅におく。

(組 織)

第5条 本協会は、本協会の趣旨に賛同する下記の者をもって組織する。

- 1 職域、地域および愛好者の団体および個人
- 2 各学校の団体
- 3 その他、本協会の趣旨に賛同する個人

(加 盟)

第6条 加盟に関する規程は、会長が別に定める。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 本協会に、次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	若干名
顧 問	〃
参 与	〃

理 事 長	1 名
副理事長	若干名
常務理事	〃 （うち、事務局長 1 名）
理 事	〃
監 事	2 名

本協会は、委員を置くことができる。

（役員の選出）

第 8 条 役員の選出は、次のとおりとする。

- 1 会長、副会長、理事長および事務局長は総会で選出する。
- 2 顧問は、総会の推薦により会長がこれを委嘱する。
- 3 参与は、理事長の推薦により会長がこれを委嘱する。
- 4 副理事長は、理事長が推薦し会長がこれを委嘱する。
- 5 常務理事は、理事の互選により選出し、会長がこれを委嘱する。
- 6 理事は、各加盟団体から推薦された者と会長が推薦する若干名を会長が委嘱する。
- 7 監事は、会長が総会の同意を得て会員の中から委嘱する。

（役員の任期）

第 9 条 役員の任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

- 1 役員の欠員を生じたときは、補充することができる。任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務にあたるものとする。

（役員の任務）

第 10 条 役員の任務は次のとおりとする。

- 1 会長は、本協会を代表し会務を統轄する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長が事故あるときはこれを代理する。
- 3 理事長は、会長の命により会務を代表執行する。
- 4 副理事長は理事長を補佐し、理事長が事故あるときはこれを代理する。
- 5 常務理事は、理事長の命により業務を処理する。
- 6 理事は、常務理事の命により業務を処理する。
- 7 監事は、本協会の会計監査を行う。
- 8 顧問および参与は、重要事項について、諮問に応じて会議に出席して意見を述べることができる。

第 3 章 会 議

（総 会）

第 11 条 総会は会長が召集し、原則として毎年 3 月に開催する。ただし、会長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

総会は、次に掲げる事項を議決する。

- 1 事業計画
- 2 予算および決算の承認
- 3 会則の改正
- 4 役員の選任
- 5 その他、必要な事項

(理事会)

第12条 理事会は、会長・副会長および理事をもって構成し、必要に応じて会長がこれを召集し、本協会の運営を審議する。

(常務理事会)

第13条 常務理事会は、常務理事をもって構成し、必要に応じて理事長がこれを召集し、理事会の委任事項について具体的業務の企画立案（議決）をおこないこれを処理する。

第14条 各会議の議事は、出席者の過半数をもって決する。但し、可否同数のときは議長がこれを決する。

第4章 運 営 機 構

(運営機構)

第15条 本協会の運営機構は、別に定める。

(各種委員会)

第16条 理事会が必要と認めたときは、専門委員会を設けることができる。専門委員会の名称、委員長・委員、その他の事項は理事会で定め、委員長がこれを召集する。

第5章 加 盟

(関係団体)

第17条 本協会は、福井県バドミントン協会および福井市体育協会に加盟する。関係団体への役員派遣は、常務理事会において推薦し、会長が決定する。

第6章 会 計

(会 計)

第18条 本協会の経費は、次の収入によってこれにあてるものとする。

- 1 分担金（加盟金および登録料）および大会参加料
- 2 市および市体育協会補助金
- 3 寄付金
- 4 その他の収入

登録料は、総会で決める。

本協会の会計年度は、4月1日に始まり3月31日に終わる。

第19条 本協会は、基本財産を設けることができる。なお、基本財産運用規

則は別に定める。

(その他)

第20条 この会則の運用、その他本協会の運営に関し、特に必要な事項は会長が別に定める。

(附 則)

本会則は、昭和36年10月21日から施行する。

昭和62年 3月31日制定
平成13年 3月31日改正
平成19年 3月31日改正
平成23年 3月31日改正
平成30年 4月 6日改正

第1条 組織（第5条 関係）

本協会の組織は、運営機構図のとおりとする。

第2条 加盟（第5条・第6条・第18条 関係）

1 登録資格

（1） 一般登録者

福井市に在住している者、または勤務している者。もしくは当協会に団体登録したクラブに所属する者。

（2） 学生（生徒）の登録者

福井市に在住している者、または福井市に所在地のある学校に通学している者

2 登録

本協会に加盟する場合の登録は、団体登録と個人登録とする。

（1） 登録された団体には、本協会・県協会の行事にかかわる書類を送る。その費用として、一般・大学団体登録料 2,000円、ジュニア団体登録料 3,000円を納める。但し、1人で団体登録する場合は、団体登録料は 1,000円とする。なお、中学校・高校については免除する。

（2） 登録する個人は、本協会を維持し発展させるために個人登録料を納める。個人登録料は、一般・大学生500円、高校生300円、中学生200円とする。

第3条 議決（第14条 関係）

1 議決権者（議事を議決する権利を有する者）

（1） 総会 団体ごとに1名とする。但し、登録者数が20名以上の団体は2名とする。

（2） その他の会議 会議に出席した者

第4条 常務理事（第7条・第8条 関係）

常務理事は、理事長・副理事長・事務局長・各委員会の委員および役員若干名とする。

第5条 運営機構（第15条 関係—事務局・委員会）

本協会の運営機構は次のとおりとし、事務局・委員会を置く。

1 事務局

- (1) 構成
 - ①局長および次長・委員をもって構成する。
 - ②次長は局長を補佐する。
 - ③次長・委員は局長の推薦により、会長がこれを委嘱する。
- (2) 業務
 - ①諸会議の計画・運営に関すること。
 - ②渉外に関すること。
 - ③大会運営の補助的業務に関すること。
 - ④会計一切に関すること。

2 委員会

委員会とは、競技委員会と強化委員会及びジュニア育成委員会とする。

- (1) 構成
 - ①各委員会は委員長・副委員長および委員をもって構成する。
 - ②委員長は常務理事の互選による。
 - ③委員長は委員会を統括し、本協会の業務を遂行するに必要な事項を専門的に分担所管し処理する。
 - ④副委員長は、委員長を補佐する。
 - ⑤委員会には専門部を置くことができる。
 - ⑥副委員長および委員は、委員長の推薦により会長がこれを委嘱する。
 - ⑦委員会は、委員長がこれを召集する。
- (2) 業務
 - ①市長杯などの大会運営全般に関すること。
 - ②審判および審判員に関すること。
 - ③県体・都市対抗大会などの強化練習会・選手選考等に関すること。
 - ④競技の普及に関すること。

第6条 賛助会（第5条 関係）

本協会の事業を推進していくため、本協会の趣旨に賛同するものを募り、基金団体として賛助会を構成する。

1 会員および会費

- (1) 賛助会は本協会の目的に賛同する会員をもって構成し、その会費は1口 5千円とする。
- (2) 賛助会員は、協会が発行する資料の配布などをうける。

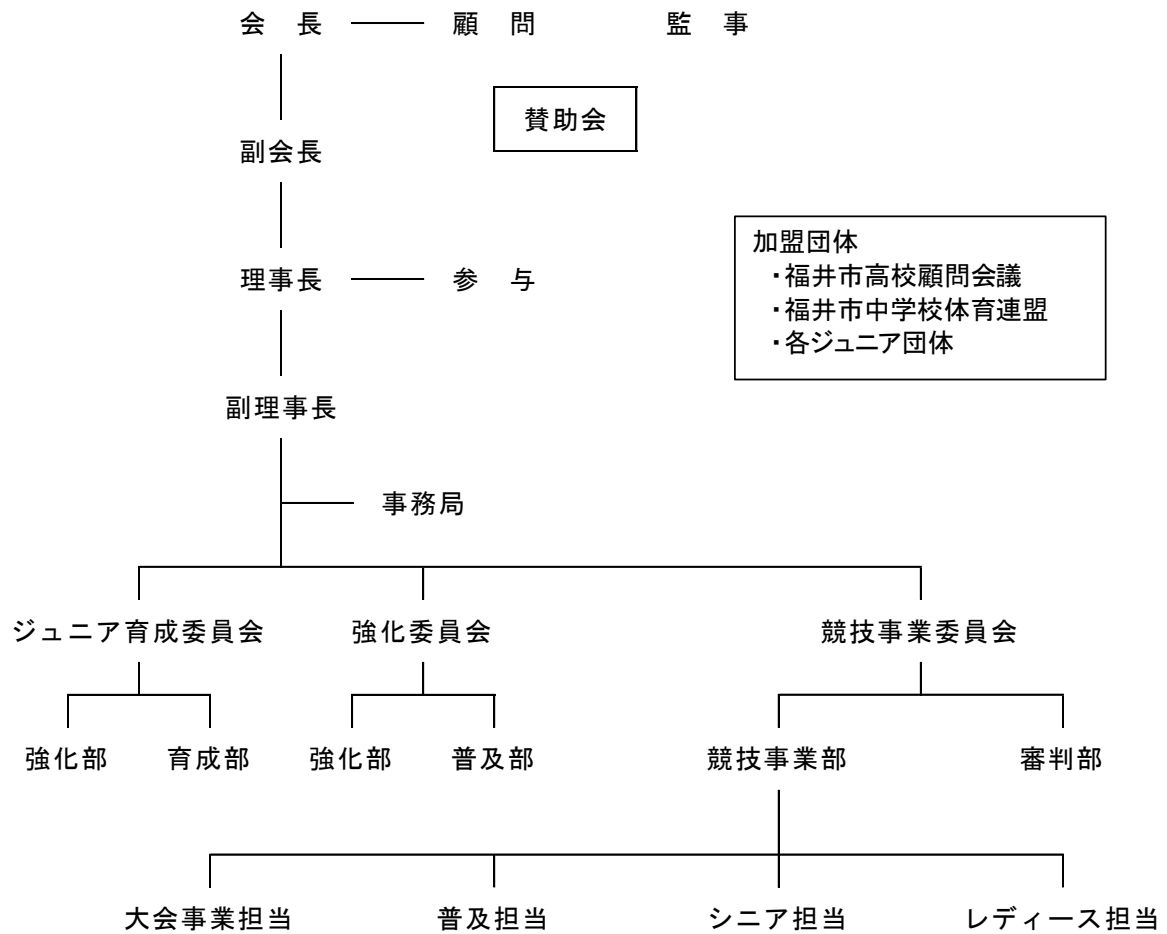
2 会合

年1回の総会を開催する。

3 運営

賛助会の運営は、常務理事があたる。

〔福井市バドミントン協会 運営機構図〕



個人登録規程

昭和56年 4月 1日制定

平成21年 4月 1日改正

個人登録は4部制とし、次のように定める。

1. 一般

- (1) 1部：県体代表選手およびそれに準ずる者 (注1)
- (2) 2部：高校・大学での経験者で、上記(1)以外の者 (注2)
- (3) 3部：中学校のみでの経験者で、上記(1)以外の者 (注2)
- (4) 3部：中・高校・大学での未経験者で、本協会に2年以上登録した者 (注3)
- (5) 4部：中・高校・大学での未経験者で、上記(4)以外の者 (注3)

2. 大学生

- (6) 1部：県体代表選手およびそれに準ずる者 (注1)
- (7) 2部：中・高校での経験者で、上記(6)以外の者 (注2)
- (8) 2部：中・高校での未経験者で、本協会に2年以上登録した者 (注3)
- (9) 3部：中・高校での未経験者で、上記(8)以外の者 (注3)

3. 高校生

- (10) 1部：協会（強化部および競技部）が認定した者 (注4)
- (11) 2部：中学校の経験者で、上記(10)以外の者 (注2)
- (12) 2部：中学校の未経験者で、本協会に2年以上登録した者 (注3)
- (13) 3部：中学校の未経験者で、上記(12)以外の者 (注3)

4. 中学生

- (14) 1部：2部：協会（強化部および競技部）が認定した者 (注4)
- (15) 3部：上記(14)及び下記(16)以外の者
- (16) 4部：小学校（ジュニア）未経験者の1年生

5. その他

- (16) 中学生・高校生・大学生で在籍校以外の一般のクラブからの登録については、上記(1)～(5)を適用する。
- (17) 登録後であっても、個人戦（シングルス、ダブルス）で優勝した者は、直ちに上位の部へ変更すること。
- (18) 登録者が病気・ケガなどのブランクにより技量が著しく低下し、現在の部に該当しなくなった場合には、所定の用紙に必要事項を記入し協会へ申請すること。
- (19) 一般4部の登録者で、本協会に2年以上登録したものであっても、前年度の

個人戦（シングルス・ダブルス）すべての大会において一回戦で敗退した者は、引き続き4部にとどまる申請をしても良い。

（20）一般の登録者で、2年以上現在の部に登録した者で、技量が著しく低下し、現在の部に該当しなくなった場合には、所定の用紙に必要事項を記入し協会へ申請すること。

（21）登録は、各々該当する部より上位の部へ申告しても良い。

（22）登録は、上記（1）～（21）を基準に自己申告制とするが、申告後協会がこれを調整することもある。

（23）降部届けは、総会するとき、または、大会申し込み締め切り1週間前とし、競技委員・事務局の同意を得て降部届けを認める。申し込み先は事務局とし、所定の用紙以外は無効とする。

| | |--------------| | （注1）～（注4）の説明 | |--------------|

（注1）それに準ずる者とは現在の1部出場者。

（注2）経験者とは、中体連、高体連及び学連の主催する大会に出場したことがある者。

（注3）未経験者とは、中体連・高体連及び学連の主催する大会に一度も出場したことの無い者。

（注4）認定した者とは、昨年度の大会（中学生にあつては中体連の大会、高校生にあつては高体連の大会）の成績により選定した者。

6. 進部について

a. 春季・秋季市長杯の、全種目において優勝した者は、ただちに上位の部に進部しなければならない。尚、試合数に応じて下記のとおり進部数を定める。

試合数 1－14 1位まで

試合数 15－34 2位まで

試合数 35－ 4位まで

b. ダブルスのペアをかえても、現在の部に止まることはできない。

c. 1部出場者については、上記a～bは適用されない。

認定審判員資格登録規程

平成元年 4月 7日制定

第1章 総 則

第1条 福井市バドミントン協会（以下「本会」という。）は、審判技術の向上と正しいバドミントン協議の運営を図るために、認定審判員（以下「審判員」という。）制度を設けるものとする。

第2条 審判員は、本会の登録会員であり、本会主催の審判講習会を受講し、所定の成績を修めた者に、その資格を与えるものとする。

第2章 検定基準および資格

第3条 審判員は、本会主催の審判講習会において合格した者とする。（但し、日本バドミントン協会の公認審判員は、講習会を免除する。）

第4条 審判員は、次の事項に該当する場合は、その資格を失うものとする。

- （1）資格登録の更新をしないとき
- （2）本会で資格が不相当と認めたとき

第3章 講習会および試験

第5条 審判講習会は学科及び実技を行い、講習会終了後、学科並びに実技試験を行う。

- （1）学科試験は、バドミントンに関する常識、競技規則及び公認審判員規定に関するものとする。
- （2）実技試験は、規則・コール・態度・運営に関するものとする。

第4章 手続き

第6条 審判講習会を受講し、試験に合格した者は資格登録を行うと共に資格証明書を交付する。

第7条 日本バドミントン協会の公認審判員は、本会の資格登録を行うものとする。

第8条 資格登録の期間は、資格登録の年度を含め3年度間とする。

第9条 資格登録の更新は、3年毎に本会の審判講習会を受講し、所定の用紙に資格証

明書を添えて行う。

第5章 審判員の保有義務

第10条 本会のすべての登録団体は、審判員を有しなければならない。

付 則

本規定は平成3年4月1日より施行する。

弔 意 規 程

平成3年 3月30日制定

1. 本協会は、会員の相互の情誼を厚くし、且つ親睦を図ることを目的とする。
2. 本協会は前項の目的を達成するため、会員に弔意及び見舞いをするものとする。

* 弔意

区分		該当者	香典	弔電	花輪
会員本人		クラブ団体長からの連絡により		○	○
市協会 役員	本人		協議による	○	○
	1親等尊属	本人の配偶者・親・子供		○	○
県協会役員		本人のみ	協議による	○	○
市町村協会役員		本人のみ	協議による	○	○

* 見舞い

市代表選手として練習および大会においてケガをし、入院が1週間以上に及んだ場合、見舞いをする。金額は5千円とする。

付 則

この規程は、平成3年4月1日より施行する。